

看護師らによる虐待報道についての声明  
日本こころの安全とケア学会 理事会

最近医療法人財団兵庫錦秀会 神出病院（兵庫県神戸市）で、看護師らが患者さんに対して虐待を行ったとして逮捕されたという報道がありました。また先日には2018年に起こった国立病院機構米沢病院の看護職員による虐待が報道されました。

こうした虐待行為は犯罪行為であり、ケア提供者としてというよりも人の道に叛く行為です。一般社団法人日本こころの安全とケア学会は包括的暴力防止プログラム（CVPPP※）を中心とした活動を通じて、すべての人のこころの安全を考えケアを提供するために活動している団体です。今回の報道にあるような当事者の方への虐待行為が行われたことは、ケアを提供するものとして断じて許すことができるものではなく、忸怩たる思いであります。

日本こころの安全とケア学会が行っている CVPPP の研修受講生には研修を修了したトレーナーの心得として、当事者のことを第一に考え、当事者を不快にするような言動を行ってはならないことをあげています。これまでに CVPPP を受講したすべてのトレーナーはこの心得を遵守し、専門職としての職責をまっとうすることを要請します。

本学会は今後 CVPPP の研修規定の見直しや組織体制の見直しを行い、より厳格な運営ができるように努めてまいります。私たちはすべての当事者の方が安全であると感じることができ、安心して過ごすことができることを目指し、当事者の方々との人間的な出会いを大切にできるよう努力していきます。

尚、新型コロナウイルスの問題の影響のため本声明の発表が遅くなりましたことお詫び申し上げます。

※CVPPP は Comprehensive Violence Prevention and Protection Program の略でスタッフが当事者の方を管理したり支配したりすることなく、安心して過ごせるようにかかわるためのトレーニングプログラムです

令和2年3月  
一般社団法人日本こころの安全とケア学会  
会長 下里 誠二